

**CDE（共通データ環境）連携による建設現場業務を強力にサポート
Catenda Hub に設備 BIM モデルをダイレクトリンク
BIM 生産に関わるワークフローを改善し、業務効率化と生産性向上に寄与**

株式会社 NYK システムズ（本社：東京都千代田区、代表取締役：渡辺洋一郎。以下、NYK システムズ）は、オープン BIM に準拠した CDE「Catenda Hub」を販売する株式会社グローバル BIM（本社：東京都港区、代表取締役：矢嶋和美。以下、グローバル BIM）と共同で、建築設備 CAD「レブロ」から設備 BIM モデルを Catenda Hub へ連携し、建設現場で行われる総合調整をはじめとした、プロジェクト進行の支援機能を開発・提供開始いたします。

本機能は、レブロから Catenda Hub へ設備 BIM モデルをダイレクトリンクし、その他 BIM モデル（意匠・躯体・鉄骨）との重ね合わせ、BCF 形式に準拠した 이슈ー（課題）の受け渡しにより、スムーズな閲覧・確認・検討・指示出しが行えるものです。

また、Catenda Hub のデータ管理機能では、IFC 形式のモデル、図面・資料等のドキュメントをブラウザベースで一元管理し、現場担当者間でのコミュニケーションを円滑にします。

Catenda Hub はモバイルアプリでの対応も可能なため、人や場所を問わずに BIM モデルを基にしたプロジェクト進行ができ、CDE の特性を活かした業務効率化が見込まれます。

レブロでは、今後も Catenda Hub での設備 BIM モデル活用に向け、連携を強化していく方針です。尚、本機能のリリースに伴い、10月26日（木）に開催されます『ArchiFuture2023』（東京・有明）では実機を展示いたします。

「Catenda Hub」とは

2009年にノルウェー・オスロに拠点を置く IFC・BCF 等に準拠した、オープン BIM コラボレーションとプロジェクト管理のプラットフォームを開発している Catenda 社より誕生した、ベンダーに依存しない中立性のあるソリューションである。日本国内では2023年2月よりグローバル BIM が販売を開始した。

buildingSMART の国際標準に準拠した、IFC、ifcXML、ifcZIP 形式で IFC2x3 に対応。IFCver4 もフルサポートしているデータストック CDE のため、建設現場における BIM データの利活用を強力にサポート。製品の詳細については、グローバル BIM の Web サイトにてご確認ください。

<https://global-bim.com/?page=catendahub>

【株式会社 NYK システムズについて】

設立：2006年6月

代表：代表取締役社長 渡辺 洋一郎

本社：東京都千代田区神田和泉町 1-9-2 住友不動産神田和泉町ビル

事業内容：建築設備 CAD ソフトウェアの開発・販売

URL：<https://nyk-systems.co.jp/>

【プレスリリースに関するお問い合わせ】

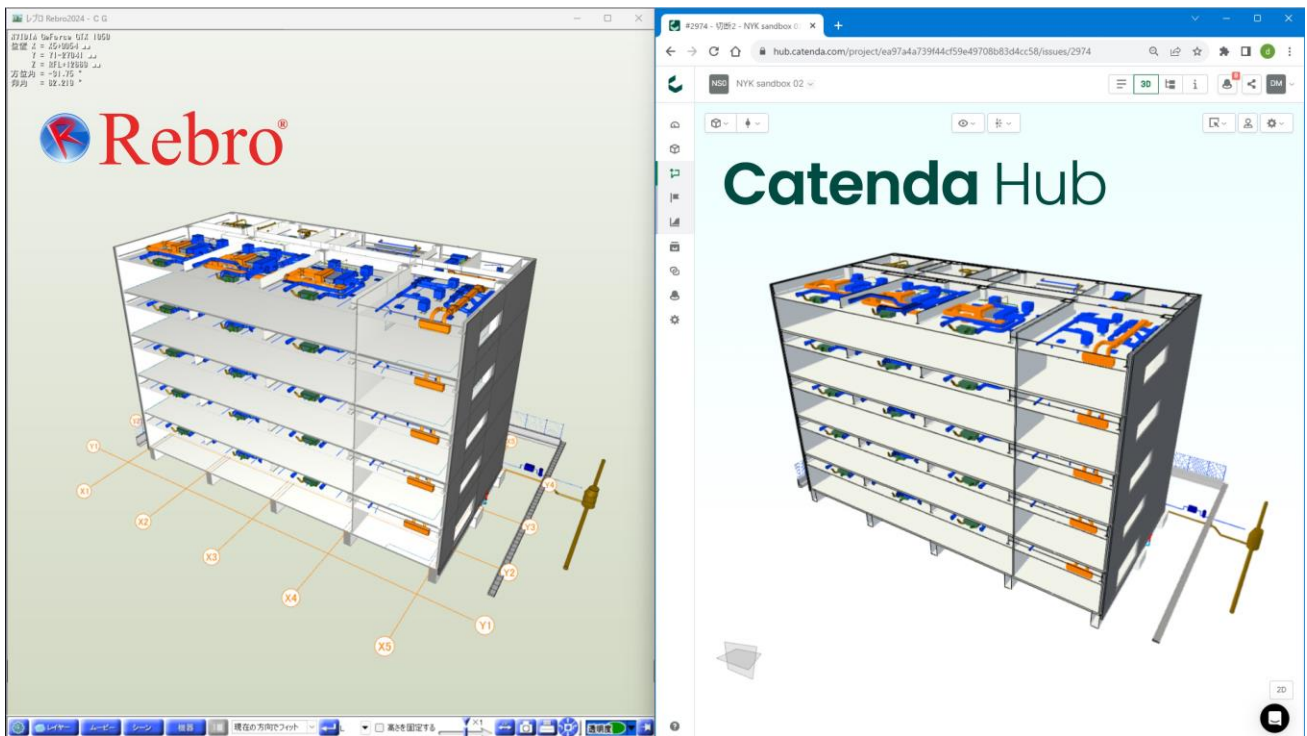
株式会社 NYK システムズ

東京事業所 営業部 石橋

〒101-0024 東京都千代田区神田和泉町 1-9-2 住友不動産神田和泉町ビル 3F

TEL：03-5809-1256 / FAX:03-5833-7173

Email：ishibashi.tomoya@nyk-systems.co.jp



※BIM モデルの閲覧イメージ